

グループ通算の達人from会計王22シリーズ

運用ガイド

この度は、「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」は、ソリマチ株式会社の「会計王」の会計データを「グループ通算の達人 [個社処理用]」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
1.「達人 Cube」からアップデートする場合	5
2.「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
1.「会計王」と「グループ通算の達人 [個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしている場合	11
2.「会計王」と「グループ通算の達人 [個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合	12
5.操作方法	13
「グループ通算の達人 from 会計王22シリーズ」を使用する前に	13
1.「会計王」と「グループ通算の達人 [個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしている場合	16
2.「会計王」と「グループ通算の達人 [個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合	21
6.連動対象項目	27
「会計王」から連動するデータ（連動元）	27
「グループ通算の達人 [個社処理用]」に連動するデータ（連動先）	28
貸借対照表	31
損益計算書	32
製造原価報告書	33
株主資本等変動計算書等	34
個別注記表	36
入力用帳票 [六（一）・八（一）]	37
別表十四（二）	38
別表十五	39
7.アンインストール方法	40
8.著作権・免責等に関する注意事項	41

1.対応製品

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」に対応するNTTデータの対応製品及びソリマチの対応製品は以下のとおりです。

会社名	対応製品
株式会社NTTデータ	グループ通算の達人（令和04年度版）[個社処理用] Professional Edition
ソリマチ株式会社	会計王22
	会計王22PRO



注意

本書は、出版時点での最新プログラムの画像を使用しています。

2.動作環境

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」に必要な動作環境は「1.対応製品」(P.3)に記載のソリマチ株式会社の「対応製品」と同様です。



注意

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」(P.3)に記載のソリマチ株式会社の「対応製品」のいずれかをインストールしている必要があります。

3.インストール方法

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。

1.「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



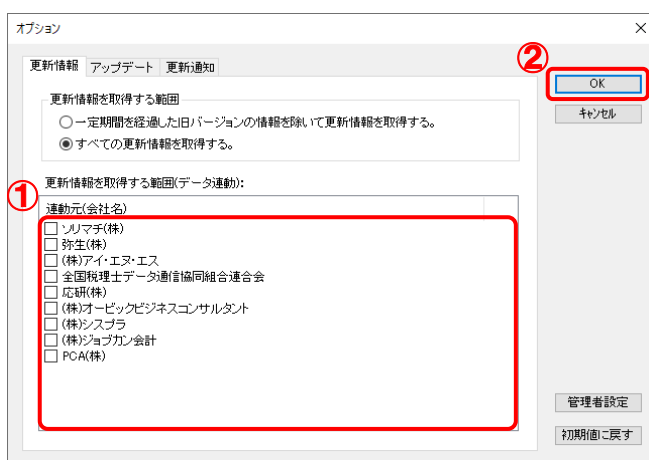
[アップデート] 画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブ-[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



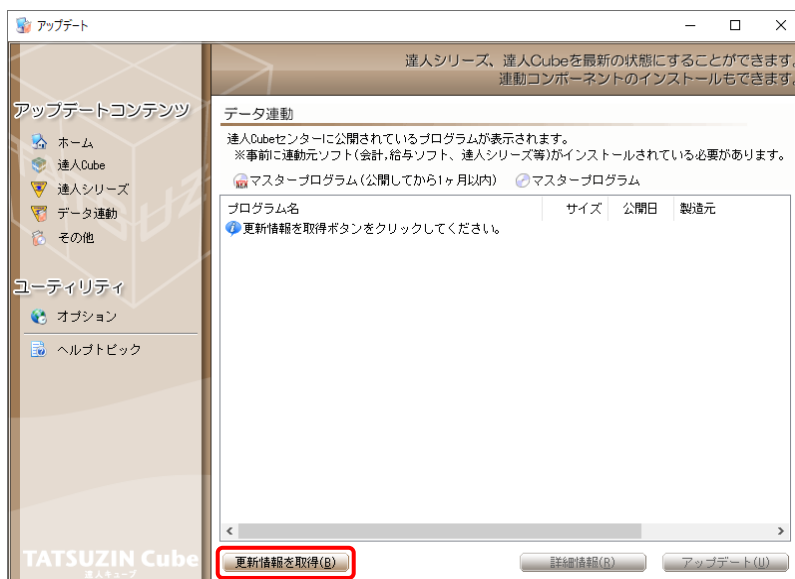
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



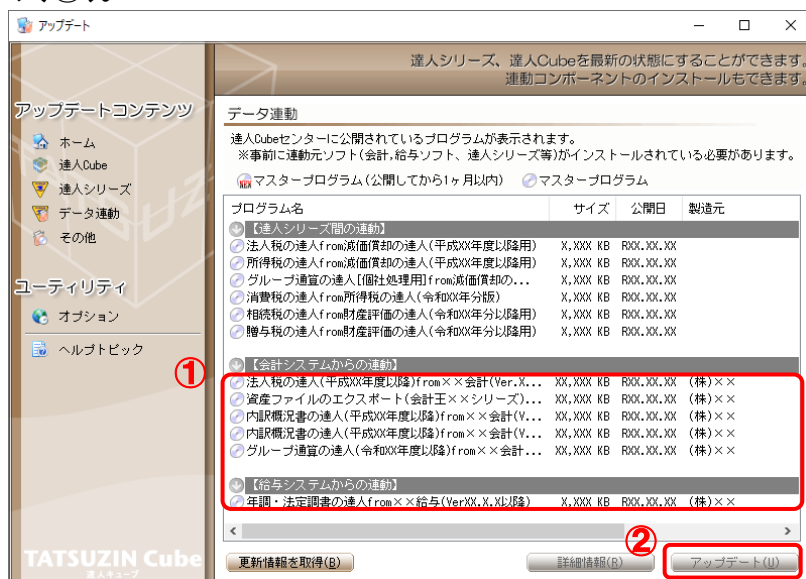
[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

7. [はい]ボタンをクリックします。

[InstallShield Wizard] 画面が表示されます。

8. [次へ]ボタンをクリックします。

[設定内容の確認] 画面が表示されます。

9. インストール先のフォルダを確認し、[インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」のインストールは完了です。

2.「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトの連動コンポーネントダウンロードページ (https://www.tatsuzin.info/rendousoft/rendou_download.html)を開きます。

The screenshot shows the website interface for downloading components. The main content area is titled "連動会計・給与ソフト" (Integrated Accounting/Payroll Software). It includes a navigation menu on the left, a central list of software products, and a table of download links.

連動会計・給与ソフト

「達人シリーズ」は会計・給与ソフトで作成したデータを取り込み、各種申告書作成および電子申告などに活用することができます。会計・給与ソフトメーカーとNTTデータが考案する会計ソフトを独自の先進のコンセプトに基づいて、機能的な全く新しい会計・税務のあり方を実現しました。協議する会計・給与ソフトメーカーと共に皆様の業務を強力にバックアップします。もちろん、「達人シリーズ」間での連動も可能です。

「達人シリーズ」の連動とは? 連動メーカー紹介 **連動コンポーネントダウンロード**

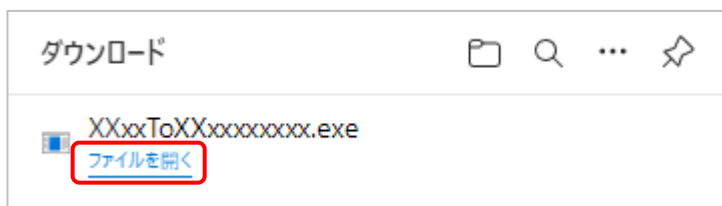
- 法人税の達人
- 所償税の達人
- 財産評価の達人
- 減価償却の達人
- 年調・法定調書の達人
- グループ通算の達人
- 消費税の達人
- 担税税の達人
- 連結納税の達人
- 内訳状況書の達人
- 給与税の達人
- データ管理の達人

法人税の達人

会社名	連動ソフト・サービス名	連動コンポーネント/マニュアル
株式会社NTTデータ (申告書作成ソフト)	・ 減価償却の達人	ダウンロード
ソリマチ株式会社	・ 会計王XX PRO ・ 会計王XX ・ 業績簿記XX	ダウンロード
弥生株式会社	・ 弥生会計	ダウンロード
株式会社フリーウェイジャパン	・ フリーウェイ経理Pro	※
株式会社アイ・エヌ・エス	・ S会計Pro-Socio	ダウンロード
全業税理士データ通信協同組合連合会	・ TACTICS財務XX	ダウンロード
応研株式会社	・ 大蔵大畜AX ・ 大蔵大畜NXVerX VerX ・ 大蔵大畜個別原簿版NXVerX VerX ・ 建設大畜NXVerX VerX ・ 医療大畜NXVerX VerX ・ 大蔵エンタープライズ 会計	ダウンロード
株式会社ワイエムジーソフト	・ 富士山会計 FINE	※

2. 該当の「達人シリーズ」のソフト名をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカー一覧画面が表示されます。
3. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの[ダウンロード]をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。
4. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。
画面の右上に [ダウンロード] 画面が表示されます。

5. [ファイルを開く]をクリックします。



[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

6. [はい]ボタンをクリックします。

[InstallShield Wizard] 画面が表示されます。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

[設定内容の確認] 画面が表示されます。

8. インストール先のフォルダを確認し、[インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

9. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」のインストールは完了です。

4.運用方法

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」は、「会計王」のデータから中間ファイルを作成します。データ取り込みの操作方法は、「会計王」と「グループ通算の達人 [個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

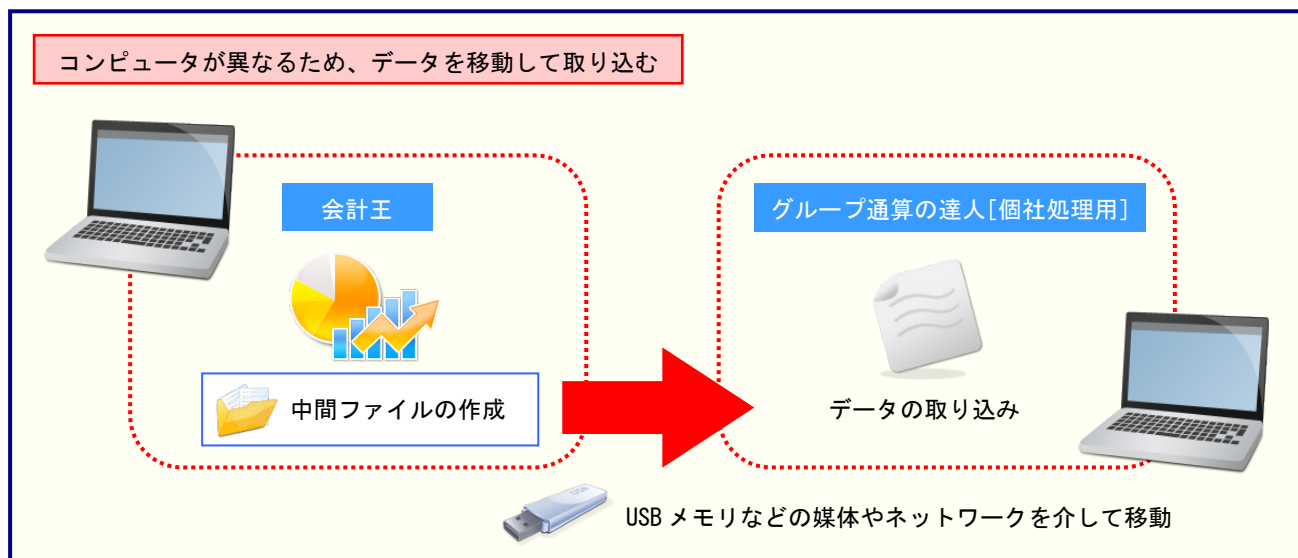
1.「会計王」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしている場合

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」で作成した中間ファイルを直接「グループ通算の達人 [個社処理用]」に取り込みます。



2.「会計王」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合

「会計王」をインストールしているコンピュータで中間ファイルを作成し、「グループ通算の達人[個社処理用]」をインストールしているコンピュータで取り込みます。



5.操作方法

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」を使って、以下の手順で連動します。

事前に「6.連動対象項目」(P.27)を必ずお読みください。

操作手順は、「会計王」と「グループ通算の達人 [個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」を使用する前に

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」を使用する前に以下の手順で、「会計王」に達人用のユーザーを登録し、「会計王」が起動中でも連動できる設定をしてください。この手順は、「会計王」と「グループ通算の達人 [個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしているかどうかにかかわらず、共通の手順となります。



注意

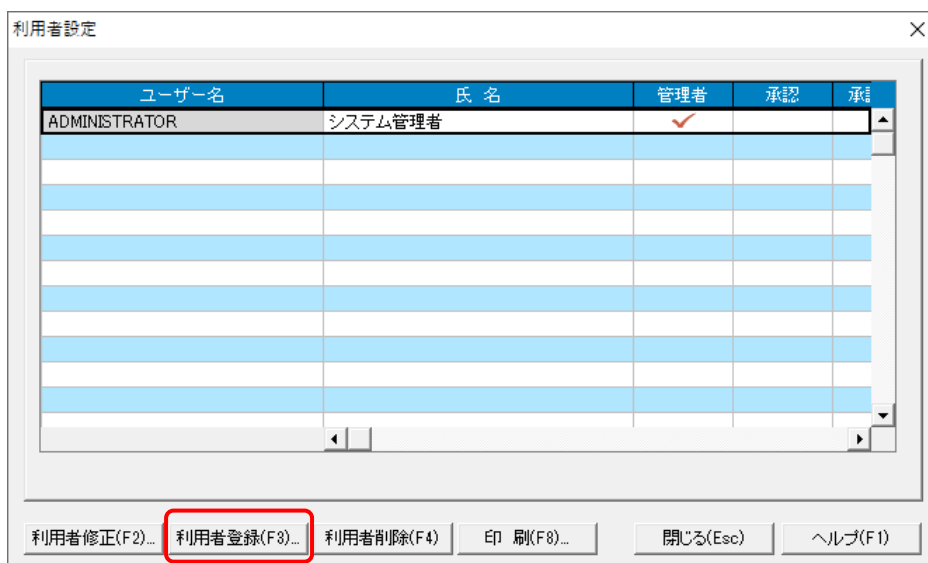
達人用のユーザーを登録しないと「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」を使用できません。

1. 「会計王」を起動し、メニュー[ファイル]ー[利用者設定]をクリックします。



[利用者設定] 画面が表示されます。

2. [利用者登録]ボタンをクリックします。



[利用者登録] 画面が表示されます。

3. 「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」用のユーザー情報を入力し(①)、[登録]ボタンをクリックします(②)。

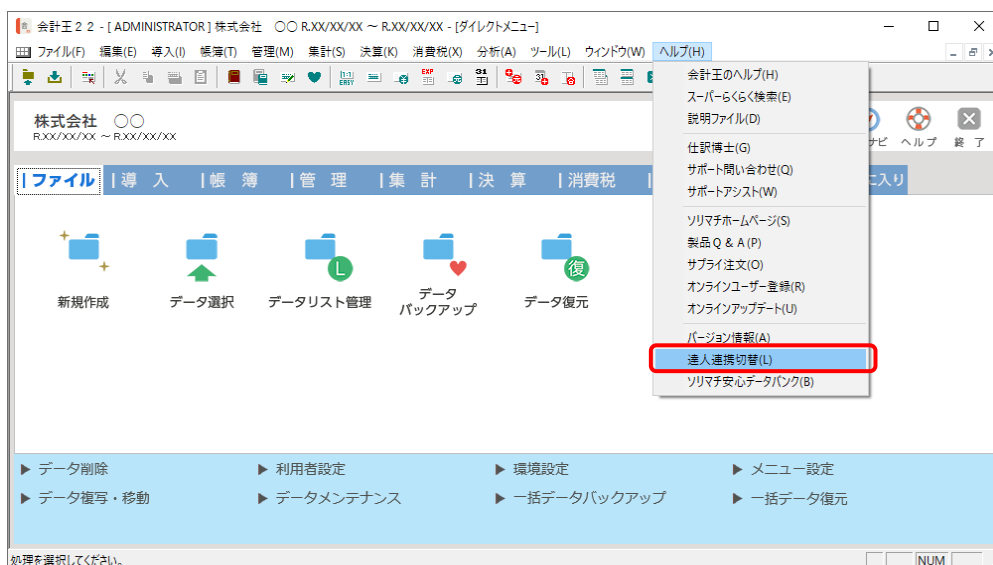
[利用者設定] 画面に戻るので、[閉じる] ボタンをクリックします。

※ ユーザー名の先頭を“TATSUZIN”とすることで、達人用のユーザーとして認識されます。

※ ユーザー名以外の入力は任意となりますが、確認しやすい情報を入力しておくとう便利です。

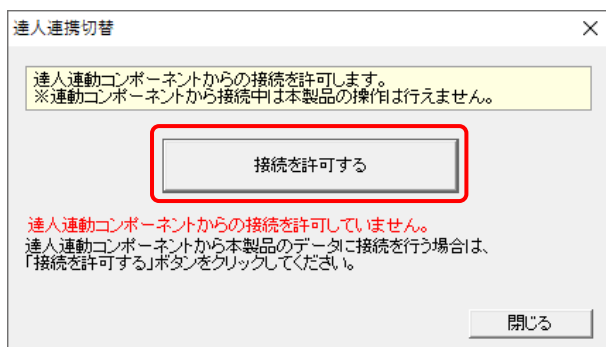
※ 「会計王」の起動中に連動をしない場合、手順4以降は行いません。

4. メニューバー[ヘルプ]ー[達人連携切替]をクリックします。



「達人連携切替」画面が表示されます。

5. [接続を許可する]ボタンをクリックします。



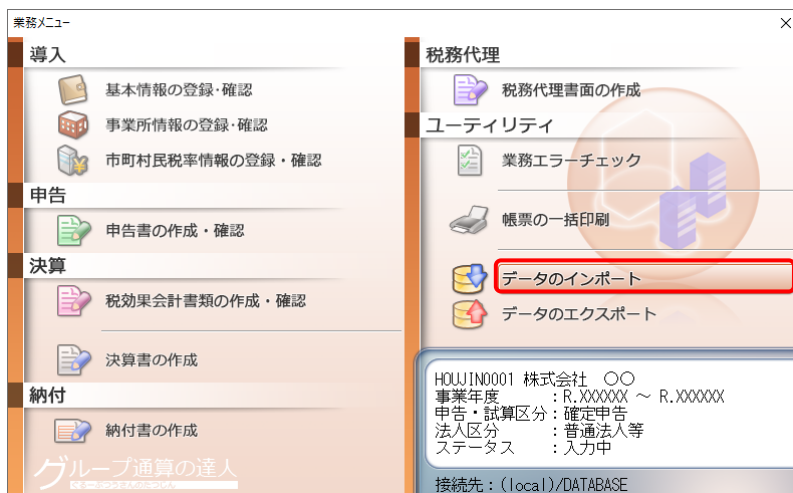
達人連動コンポーネントからの接続が許可され、「会計王」が起動中でも連動できるようになります。

※ 接続を解除する場合は「接続許可を解除する」ボタンをクリックし、解除してください。

以上で、「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」を使用する前の準備は完了です。

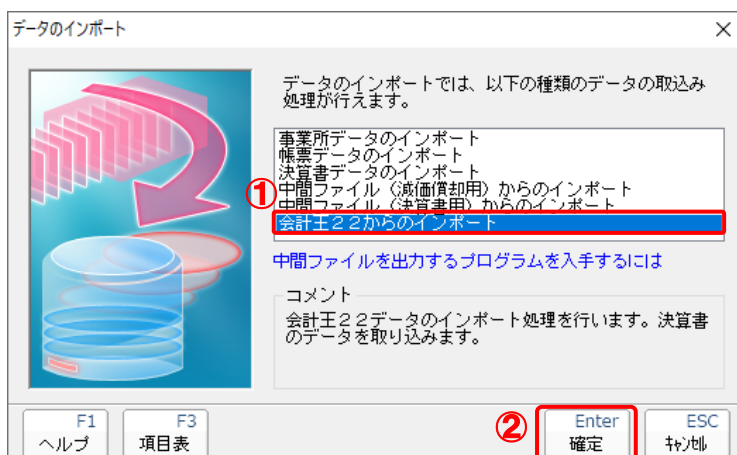
1. 「会計王」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしている場合

1. 「グループ通算の達人[個社処理用]」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [会計王22からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



[会計王22 - ログイン] 画面が表示されます。

※ 「会計王22PRO」を利用している場合は [会計王22PROからのインポート] をクリックして選択し、[確定] ボタンをクリックします。

3. 「会計王」側で登録した[ユーザー名]及び[パスワード]を入力し(①)、[ログイン]ボタンをクリックします(②)。

会計王22 - ログイン

ユーザー名(U): TATSUZIN | USER

パスワード(P): *****

ログイン情報を保存する(L)

ログイン(F12) キャンセル(Esc)

[データ選択] 画面が表示されます。

※ [ユーザー名] には既に“TATSUZIN” が設定されていますので、後に続く文字を入力します。

※ 次回以降、[ユーザー名] と [パスワード] を自動で入力するには、[ログイン情報を保存する] をクリックしてチェックを付けます。

4. 「グループ通算の達人[個社処理用]」に取り込む「会計王」のデータをクリックして選択し(①)、[選択]ボタンをクリックします(②)。

データ選択

これから処理する会計データを選択してください。

事業所名	決算期	期首日	備考
0001-0000 株式会社 ○○			
株式会社 ○○	1 XXXX/XX/XX~		株式会社 ○○ 令和XX年 ...
0002-0000 ○○ 太郎			

選択(F12) 最新表示(F6) キャンセル(Esc)

[決算書 - 集計条件] 画面が表示されます。

5. 集計条件を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

決算書 - 集計条件

事業所名 : 株式会社 ○○

会計期間 : XXXX/XX/XX~XXXX/XX/XX

集計期間 : 月度(S) ~ 月度(E)

株主/社員資本等変動計算書の選択

株主資本等変動計算書の情報を出力する(K)

社員資本等変動計算書の情報を出力する(M)

総勘定元帳の情報を出力する(N)

出力先

C:\Users\tatsuzin\AppData\Local\Temp\TzTemp\XXXXXXXXXXXXXXX

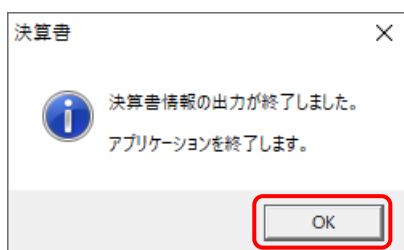
参照(D)...

実行(F12) キャンセル(Esc)

終了画面が表示されます。

※「会計王」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、ラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

6. [OK]ボタンをクリックします。



[インポート対象設定] 画面が表示されます。

7. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

インポート対象設定

帳票名 項目名

- 決算書
- 貸借対照表
- 損益計算書
- 製造原価報告書
- 株主資本等変動計算書
- 個別注記表

■決算書の設定

業種/ボタン設定

業種 一般商工業

貸借対照表の個別表示/ボタン設定

1. 流動資産 貸借対当金 一括控除

2. 有形固定資産 ① 減価償却累計額 一括控除

② 減損損失累計額 一括控除

③ 減価償却累計額及び減損損失累計額 科目別控除

3. 投資その他の資産 貸借対当金 一括控除

④ 減価償却累計額 一括控除

⑤ 減損損失累計額 一括控除

⑥ 減価償却累計額及び減損損失累計額 科目別控除

損益計算書の個別表示/ボタン設定

1. 売上高 科目別掲記

2. 売上原価 期首商品たな卸高、当期商品仕入高、期末商品備卸高の区分掲記

3. 販売費及び一般管理費 費目別掲記

F1 ヘルプ F5 選択 F6 新規登録 F7 削除 F8 確認 F9 初期値 F11 全選択

Enter 実行 ESC 転/出

インポートの確認メッセージが表示されます。

8. [OK]ボタンをクリックします。

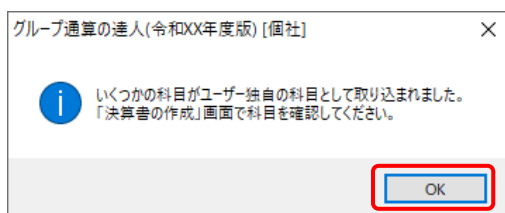
グループ通算の達人(令和XX年度版) [個社] ×

インポート処理を開始します。
よろしいですか?

OK キャンセル

取込の確認メッセージが表示されます。

9. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成（中間ファイルの作成）が終了すると同時に、「グループ通算の達人 [個社処理用]」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「グループ通算の達人 [個社処理用]」側で科目の取込設定を行う必要があります。操作手順については『[法人税の達人 運用ガイド](#)』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください（運用ガイドは「法人税の達人」ですが、操作手順は同じです）。

2. 「会計王」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合

1. Windowsのスタートメニュー[達人シリーズ]—[グループ通算の達人from会計王22シリーズ]をクリックします。

[会計王22 — ログイン] 画面が表示されます。

※ Windows 11の場合は、Windowsのスタートメニュー [すべてのアプリ] をクリックして表示される [すべてのアプリ] 画面で、[達人シリーズ] — [グループ通算の達人from会計王22シリーズ] をクリックします。

2. 「会計王」側で登録した[ユーザー名]及び[パスワード]を入力し(①)、[ログイン]ボタンをクリックします(②)。

[データ選択] 画面が表示されます。

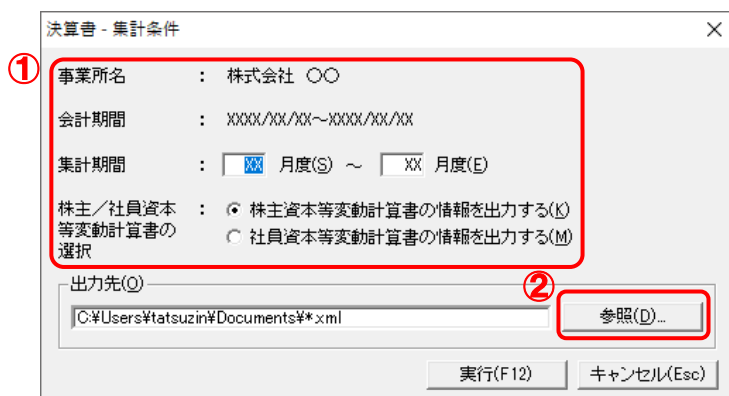
※ [ユーザー名] には既に“TATSUZIN”が設定されていますので、後に続く文字を入力します。

※ 次回以降、[ユーザー名] と [パスワード] を自動で入力するには、[ログイン情報を保存する] をクリックしてチェックを付けます。

3. 「グループ通算の達人[個社処理用]」に取り込む「会計王」のデータをクリックして選択し(①)、[選択]ボタンをクリックします(②)。

[決算書 — 集計条件] 画面が表示されます。

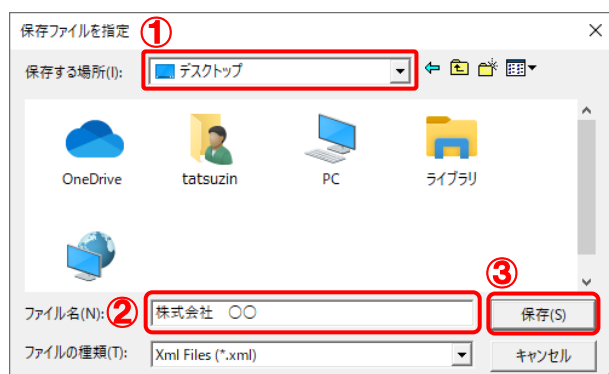
4. 集計条件を設定し(①)、[参照]ボタンをクリックします(②)。



[保存ファイルを指定] 画面が表示されます。

※ 「会計王」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、ラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

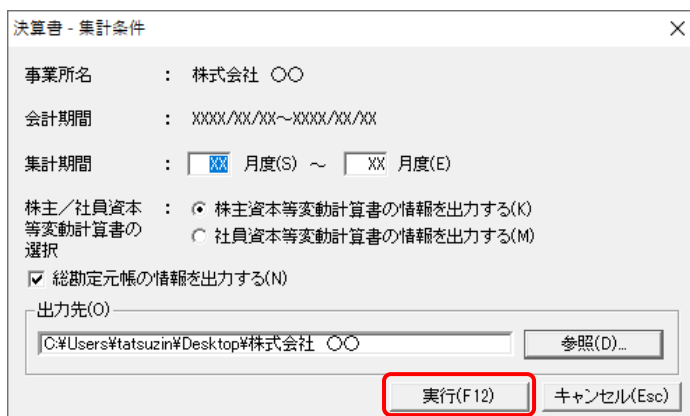
5. [保存する場所](①)と[ファイル名]を指定し(②)、[保存]ボタンをクリックします(③)。



[決算書 - 集計条件] 画面に戻ります。

※ 出力先のファイル拡張子にはxmlを指定してください。

6. [実行]ボタンをクリックします。



決算書 - 集計条件

事業所名 : 株式会社 ○○

会計期間 : XXXX/XX/XX~XXXX/XX/XX

集計期間 : 月度(S) ~ 月度(E)

株主/社員資本 : 株主資本等変動計算書の情報を出力する(K)
等変動計算書の 社員資本等変動計算書の情報を出力する(M)
選択

総勘定元帳の情報を出力する(N)

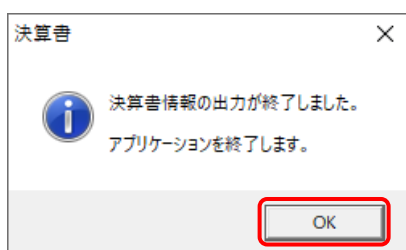
出力先(O)
C:\Users\tatsuzin\Desktop\株式会社 ○○

参照(D)...

実行(F12) キャンセル(Esc)

終了画面が表示されます。

7. [OK]ボタンをクリックします。



決算書

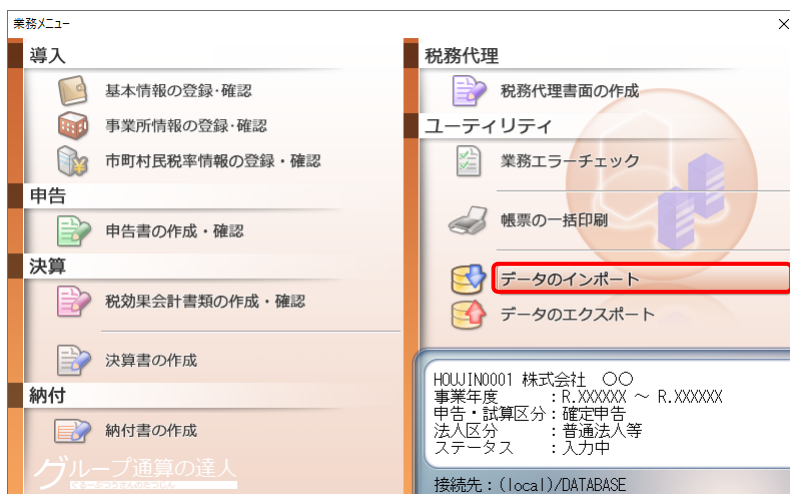
決算書情報の出力が終了しました。
アプリケーションを終了します。

OK

手順5で指定した出力先に、中間ファイルが作成されます。

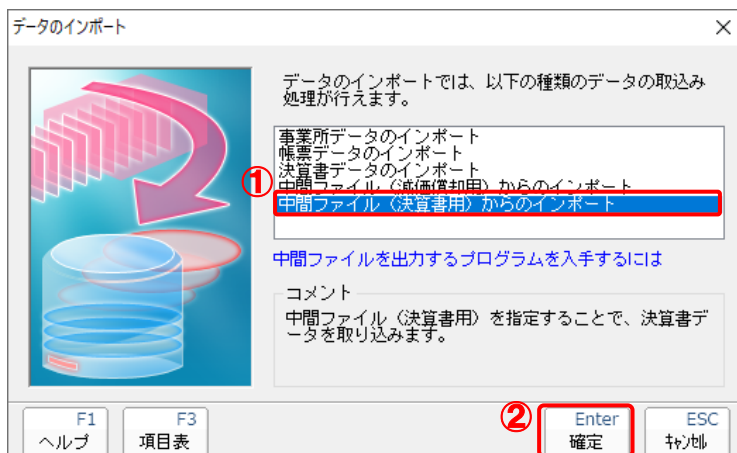
8. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「グループ通算の達人[個社処理用]」をインストールしているコンピュータに移動します。

9. 「グループ通算の達人[個社処理用]」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



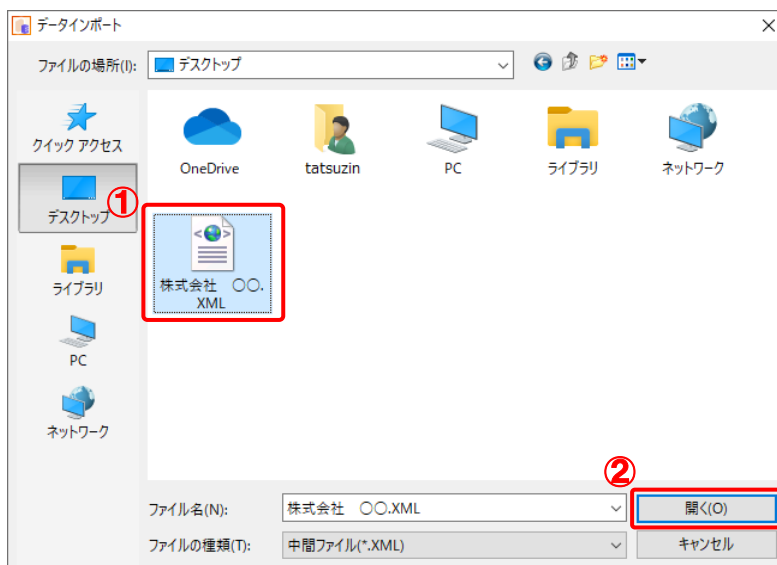
[データのインポート] 画面が表示されます。

10. [中間ファイル(決算書用)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



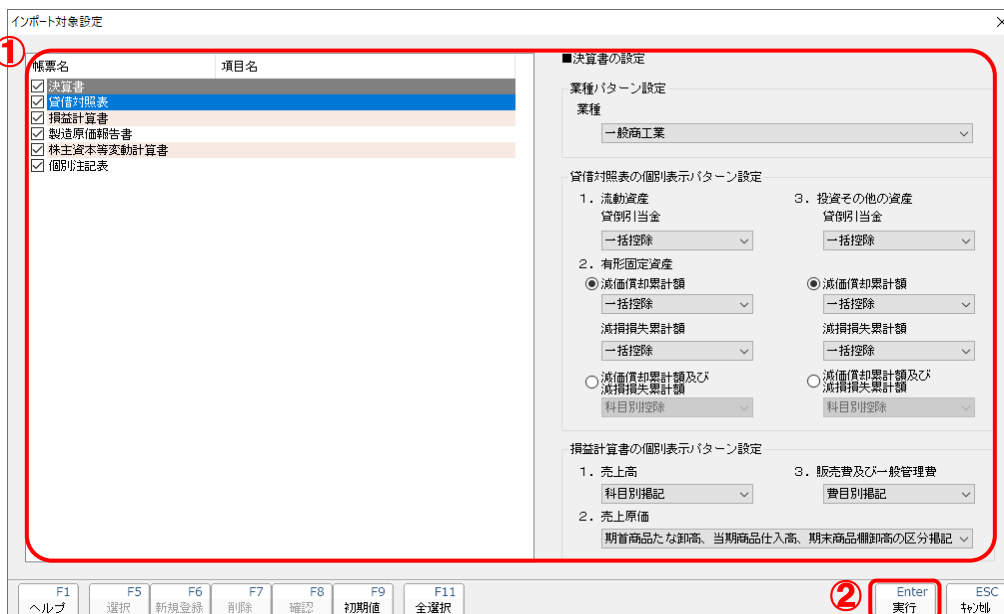
[データインポート] 画面が表示されます。

11. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



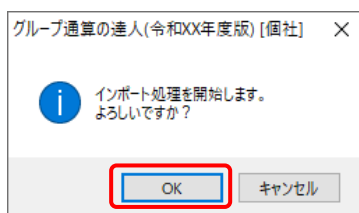
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

12. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。



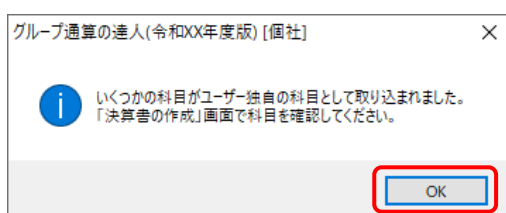
インポートの確認メッセージが表示されます。

13. [OK]ボタンをクリックします。



取込の確認メッセージが表示されます。

14. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「グループ通算の達人 [個社処理用]」側で科目の取込設定を行う必要があります。操作手順については『[法人税の達人 運用ガイド](#)』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取込み設定を行う」をご確認ください（運用ガイドは「法人税の達人」ですが、操作手順は同じです）。

6.連動対象項目

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」では、「会計王」の決算書よりデータを取り込みます。

「会計王」から連動するデータ(連動元)

「会計王」からはメニュー [決算] - [決算書] の決算書データが連動します。

株式会社 ○○
R.XX/XX/XX ~ R.XX/XX/XX

ファイル(F) 編集(E) 導入(I) 帳簿(T) 管理(M) 集計(S) 決算(K) 消費税(X) 分析(A) ツール(L) ウインドウ(W) ヘルプ(H)

株式会社 ○○
R.XX/XX/XX ~ R.XX/XX/XX

明細取込 設定 マニュアル 操作ナビ ヘルプ 終了

| ファイル | 導入 | 帳簿 | 管理 | 集計 | **決算** | 消費税 | 分析 | ツール | お気に入り

らくらく仕訳監査
 決算ガイダンス
 家事関連費計算表
 決算書
 キャッシュフロー計算書
 データ次年度更新

▶ 精算表 ▶ 前期比較決算書
 ▶ キャッシュフロー修正仕訳入力

処理を選択してください。

貸借対照表

(単位:円)

令和XX年XX月XX日 現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		支払手形	10,168,739
現金	20,053,524	買掛金	7,836,144
当座預金	10,628,204	未払金	5,500,000
普通預金	34,469,764	前受金	1,000,000
定期預金	41,926,668	短期借入金	300,000
定期積金	10,000,000	割引手形	700,000
現金・預金計	117,078,160	賞与引当金	4,280,200
(売上債権)		未払法人税等	13,621,096
受取手形	3,462,228	未払消費税等	3,576,185
売掛金	14,071,602	流動負債計	46,982,364
貸倒引当金	△1,376,189	【固定負債】	
売上債権計	16,157,641	長期借入金	50,800,000
(有価証券)		長期預り金	10,000,000
有価証券	167,622	固定負債計	60,800,000
有価証券計	167,622	負債の部合計	107,782,364
(補助資産)		純資産の部	
商品	3,049,064	【株主資本】	
貯蔵品	206,966	資本金	30,000,000
棚卸資産計	3,256,020	(資本剰余金)	
(その他流動資産)		資本準備金	7,000,000
前払費用	575,914	その他資本剰余金	7,000,000
未収収益	370,100	資本剰余金計	14,000,000
立替金	200,000	(利益剰余金)	
その他流動資産計	1,146,014	利益準備金	75,500,000
流動資産合計	137,804,457	[その他利益剰余金]	
【固定資産】		任意積立金	33,000,000
(有形固定資産)		別途積立金	30,000,000
建物	92,400,000	圧縮積立金	21,013,675
機械及び装置	11,000,000	繰越利益剰余金	0
車両運搬具	2,000,000	利益剰余金計	159,513,675
減価償却累計額	△39,508,418	株主資本計	203,513,675
土地	86,500,000	純資産の部合計	203,513,675
有形固定資産計	152,391,582		
(無形固定資産)			
電話加入権	1,200,000		
無形固定資産計	1,200,000		
(投資その他の資産)			
出資金	10,000,000		
敷金	3,900,000		
投資その他の資産計	13,900,000		
固定資産合計	167,491,582		
【繰延資産】			
繰延資産	6,000,000		
繰延資産計	6,000,000		
資産の部合計	311,296,039	負債・純資産の部合計	311,296,039

「グループ通算の達人[個社処理用]」に連動するデータ(連動先)

「グループ通算の達人 [個社処理用]」に連動するデータは以下のとおりです。次ページ以降の各画面及び帳票の太枠部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表
 損益計算書
 製造原価報告書
 株主資本等変動計算書
 社員資本等変動計算書
 個別注記表



注意

設定について：

「グループ通算の達人 [個社処理用]」にデータが取り込まれた直後、可能な限り自動的に設定が行われます。データを取り込んだのち、「グループ通算の達人 [個社処理用]」の [取込設定] 画面にて設定を確認してください。

取込設定 (貸借対照表)

インポートされた項目を連結納税の達人で使用される科目に設定します。
 設定例に<F11 取込実行>キーを押下すると入力内容が決算書に反映されます。
 連結納税の達人で使用される科目が未設定の場合はインポートされた項目は決算書に反映されません。該当項目で<Enter 選択>キー押下により科目の選択を行ってください。

インポートされた項目	金額	連結納税の達人で使用される科目
流動資産		流動資産
現金及び預金	40,000,000	現金及び預金
売掛金	87,000,000	売掛金
たな卸資産	45,000,000	たな卸資産
製品	45,000,000	製品
未収収益	25,000,000	未収収益
流動資産に属する資産に係る...		流動資産に属する資産に係る...
貸倒引当金	-2,000,000	貸倒引当金
その他	23,821,053	その他
固定資産		固定資産
有形固定資産		有形固定資産
建物及び構築物、照明、通風...		建物及び構築物、照明、通風等...
建物 (純額)	70,000,000	建物 (純額)
機械及び装置並びにコンベ...		機械及び装置並びにコンベ...
機械及び装置 (純額)	50,000,000	機械及び装置 (純額)
機械及び装置	65,000,000	機械及び装置
減価償却累計額	-15,000,000	減価償却累計額
鉄道車両、自動車その他の陸...		鉄道車両、自動車その他の陸...
車両運搬具 (純額)	4,000,000	車両運搬具 (純額)
車両運搬具	6,000,000	車両運搬具

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F7 全消去
 F9 印刷
 F11 取込実行
 Enter 選択

個別注記表について：

「会計王」のメニュー [決算] - [決算書] - [決算書作成] 画面の [印刷する注記事項を選んでください。] 画面にて、[注記入力方法] - [注記表を「法人税の達人」へ連動可能な形式で入力する] をクリックしてチェックを付けると連動可能となります。

株主資本等変動計算書について：

「会計王」で入力した変動事由の入力内容は連携しません。

データを取り込んだのち、「グループ通算の達人 [個社処理用]」の「株主資本等変動計算書」にて入力して該当する個所に入力してください。

集計条件について：

「会計王」で設定した決算書作成における集計条件は連携しません。

社員資本等変動計算書について：

「会計王」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、連動コンポーネントのラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

修正の必要のある勘定科目について：

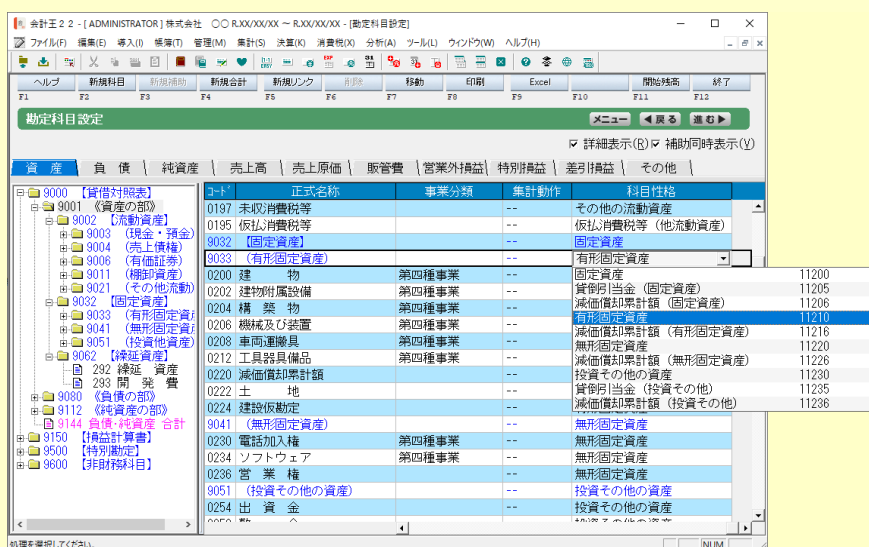
「会計王」にて、以下の科目性格を設定した勘定科目の期首残高や仕訳が入力してある場合、正しい分類に出力することができません。

『【固定資産】』

『貸倒引当金（固定資産）』

『減価償却累計額（固定資産）』

「会計王」の勘定科目設定画面にて、科目性格を [有形固定資産] [無形固定資産] [投資その他の資産] のいずれかに設定してから出力処理を行ってください。



申告書

入力用帳票 [六 (一)・八 (一)]

別表十四 (二)

別表十五



参考

インポート・エクスポート可能な項目の詳細については、「達人」公式サイト「グループ通算の達人」のページで、以下の項目をご確認ください。

[参照]  「インポート機能で帳票の作成にかかる時間を削減」
(https://www.tatsuzin.info/products_gt/)

貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索

科目	金額	加算減算
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		
受取手形及び売掛金 (純額)		
受取手形及び売掛金		
貸倒引当金		
受取手形 (純額)		
受取手形		
貸倒引当金		
売掛金 (純額)		
売掛金		
貸倒引当金		
割賦売掛金		
売買目的有価証券及び1年以内に満期の到来する有価証券		
有価証券		
親会社株式		
金銭の信託		
営業投資有価証券		
たな卸資産		
商品		
製品、副産物及び作業くず		
製品		
商品及び製品		

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額	加算減算
営業活動による収益		
売上高		
売上高		
営業活動による費用・売上原価		
営業活動による費用・売上原価の内訳		
商品売上原価		
商品期首たな卸高		
当期商品仕入高		
商品期末たな卸高		
合計		
商品売上原価		
不動産売上原価		
不動産賃貸原価		
金融費用		
金融費用		
販売費及び一般管理費		
販売手数料		
荷造費		
運搬費		
広告宣伝費		
見本費		
保管費		
納入試験費		

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 **製造原価報告書** 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額	加算減算
仕入原価		
期首たな卸高		
商品仕入高		
仕入値引・戻し高		
合計		
期末たな卸高		
材料費		
期首原材料たな卸高		
当期原材料仕入高		
非課税原材料仕入		
薬品仕入高		
診療材料仕入高		
給食材料仕入高		
医療消耗備品仕入高		
原材料仕入値引戻し高		
原材料割戻し高		
その他の原材料仕入高		
合計		
期末原材料たな卸高		
主要材料費		
補助材料費		
労務費		
建設学費		

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

株主資本等変動計算書等

株主資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額
株主資本	
資本金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
その他資本剰余金	
当期首残高	
当期変動額	
剰余金（その他資本剰余金）の配当	
自己株式の処分	
自己株式の消却	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金合計	

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

社員資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 社員資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額
社員資本	
資本金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
その他資本剰余金	
当期首残高	
当期変動額	
剰余金（その他資本剰余金）の配当	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金合計	
当期首残高	
当期変動額	

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

個別注記表

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

注記事項	設定内容
継続企業の前提に関する注記	
重要な会計方針に係る事項に関する注記	
資産の評価基準及び評価方法	
有価証券の評価基準及び評価方法	
たな卸資産の評価基準及び評価方法	
固定資産の減価償却の方法	
引当金の計上基準	
収益及び費用の計上基準	
その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項	
金利の取得原価算入	
その他	
項目名	
内容	
会計処理の原則又は手続の変更	
表示方法の変更	
貸借対照表に関する注記	
担保資産及び担保付債務	
資産の部から直接控除した貸倒引当金	
流動資産	
投資その他の資産	
有形固定資産の減価償却累計額	
保証債務額	
受取手形割引高	

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

入力用帳票[六(一)・八(一)]

所得税額・受取配当等計算シート		事業年度	法人名
1. 預貯金等の利子			
銀行名	1		
支払いを受けた年月日	2	・ ・	・ ・
手取額	3	円	円
税率	4	%	%
所得税額	5	円	円
収入金額	6	円	円
2. 受取配当等			
所得税控除計算区分		剰余金の配当、 利益の配当及び剰余金の分配 7	集団投資信託の収益の分配 8
計算期間【1年超】			剰引債の償還差益 9
計算期間【1年以内】			
別表六(一)控除を受ける所得税額			
受 取 配 当 等 の 明 細			
保 有 者 名	10	法人名又は銘柄	
支払いを受けた年月日	11	・ ・	・ ・
株式等区分	12		
所得税額控除区分	13		
本店の所在地	14		
計算基準日	15	・ ・	・ ・
計算期間の月数	16	月	月
配当等の計算期間	17	・ ・	・ ・
保有割合	18		
手取額	19	円	円
税率	20	%	%
所得税額	21	円	円
収入金額	22	円	円
元本数等	23		
配当等の計算期首における所有元本数等	24		
配当等の計算期末における所有元本数等	25		
短期所有株式数等	26		
配当等の計算期間の期末より1か月前の所有株式数	27		
配当等の計算期間の期末以前1か月以内の取得株式数	28		
配当等の計算期間の期末後2か月以内の取得株式数	29		
配当等の計算期間の期末後2か月以内の譲渡株式数	30		
(22)のうち益金算入される金額	30	円	円
所 得 税 額 控 除 の 個 別 法 に よ る 場 合 の 計 算			
所有期間の異なる月数ごとの期末における所有元本数等	31		
所有期間の月数	32	月	月
収入金額	33	円	円
所得税額	34	円	円

別表十四(二)

寄附金の損金算入に関する明細書		事業年度	法人名	別表十四(二)	
公益法人等以外の法人の場合			公益法人等の場合		
一般寄附金の損金算入限度額の計算	1	指定寄附金等の金額 (41の計)	損金算入限度額の計算	25	長期給付事業への繰入利子額
	2	特定公益増進法人等に対する寄附金額 (42の計)		26	同上以外のみなし寄附金額
	3	その他の寄附金額		27	その他の寄附金額
	4	計 (1)+(2)+(3)		28	計 (25)+(26)+(27)
	5	完全支配関係がある法人に対する寄附金額		29	所得金額仮計 (別表四「26の①」)
	6	計 (4)+(5)		30	寄附金支出前所得金額 (28)+(29) (マイナスの場合は0)
	7	所得金額仮計 (別表四「26の①」)		31	同上の $\frac{2.5 \text{ 又は } 1.25}{100}$ 相当額
	8	寄附金支出前所得金額 (6)+(7) (マイナスの場合は0)		32	公益社団法人又は公益財団法人の公益法人特別限度額 (別表十四(二)付表「3」)
	9	同上の $\frac{2.5 \text{ 又は } 1.25}{100}$ 相当額		33	長期給付事業を行う共済組合等の損金算入限度額 (12)と課税額の年0.2%相当額のうち少ない金額
	10	前定の資本等への戻又は資本等の戻及び資本等剰余金の額の合計額若しくは出資金の額 (別表四「1-3」の①又は②若しくは③) (マイナスの場合は0)		34	損金算入限度額 III、(四)及び(五)の合計額
	11	同上の月数換算額 (10) × $\frac{12}{12}$		35	指定寄附金等の金額 (41の計)
	12	同上の $\frac{2.5}{1,000}$ 相当額		36	国外関連者に対する寄附金額及び完全支配関係がある法人に対する寄附金額
	13	一般寄附金の損金算入限度額 (9)+(12) × $\frac{1}{4}$		37	(28)の寄附金額のうち同上の寄附金以外の寄附金額 (28)-(36)
	14	寄附金支出前所得金額の $\frac{6.25}{100}$ 相当額 (8) × $\frac{6.25}{100}$		38	同上のうち損金の額に算入されない金額 (37)-(34)-(35)
	15	前定の資本等への戻又は資本等の戻及び資本等剰余金の額の合計額若しくは出資金の額の合計額 (10) × $\frac{1}{100}$		39	国外関連者に対する寄附金額及び完全支配関係がある法人に対する寄附金額 (38)
	16	特定公益増進法人等に対する寄附金の特別損金算入限度額 (14)+(15) × $\frac{1}{4}$		40	計 (38)+(39)
	17	特定公益増進法人等に対する寄附金の損金算入額 (2)と(14)又は(14)のうち少ない金額			
	18	指定寄附金等の金額 (1)			
	19	国外関連者に対する寄附金額及び本店等に対する内部寄附金額 (4)の寄附金額のうち同上の寄附金以外の寄附金額 (4)-(19)			
	20	同上のうち損金の額に算入されない金額 (20)-(19)又は(13)-(18)			
	21	国外関連者に対する寄附金額及び本店等に対する内部寄附金額 (19)			
	22	完全支配関係がある法人に対する寄附金額 (5)			
	23	計 (21)+(22)+(23)			
	24				
指定寄附金等に関する明細					
寄附した日	寄附先	告示番号	寄附金の使途	寄附金額	
				41	
				円	
計					
特定公益増進法人若しくは認定特定非営利活動法人等に対する寄附金又は認定特定公益信託に対する支出金の明細					
寄附した日又は支出した日	寄附先又は受託者	所在地	寄附金の使途又は認定特定公益信託の名称	寄附金額又は支出金額	
				42	
				円	
計					
その他の寄附金のうち特定公益信託(認定特定公益信託を除く。)に対する支出金の明細					
支出した日	受託者	所在地	特定公益信託の名称	支出金額	
				円	
				円	

別表十四(二) 令四・四・一 以後終了事業年度分

別表十五

交際費等の損金算入に関する明細書				事業年度	法人名
支出交際費等の額 (8の計)	1	円	損金算入限度額 (2)又は(3)	4	円
支出接待飲食費損金算入基準額 (9の計) × $\frac{50}{100}$	2		損金不算入額 (1) - (4)	5	
中小法人等の定額控除限度額 ((1) と ((800万円 × $\frac{12}{12}$)) 又は 別表十五付表「5」) のうち少ない金額	3				
支出交際費等の額の明細					
科 目	支 出 額		交際費等の額から 控除される費用の額	差引交際費等の額	(8)のうち接待飲食費の額
	6	7			
交 際 費	円	円		円	円
計					

別表十五
令四・四・一 以後終了事業年度分

7.アンインストール方法

「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されることがあります。その場合は [はい] ボタンをクリックして作業を進めてください (必要に応じてパスワードを入力します)。

- 1. Windowsのスタートメニュー[Windowsシステムツール]—[コントロールパネル]をクリックします。**

[コントロールパネル] 画面が表示されます。
※ Windows 11の場合は、Windowsのスタートメニュー [すべてのアプリ] をクリックして表示される [すべてのアプリ] 画面で、[Windowsツール] — [コントロールパネル] をクリックします。
- 2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。**

[プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。
※ [コントロールパネル] 画面をアイコン表示にしている場合は、[プログラムと機能] をクリックします。
- 3. [グループ通算の達人from会計王22シリーズ]をクリックして選択し、[アンインストールと変更]をクリックします。**

[プログラムの保守] 画面が表示されます。
- 4. [削除]を選択した状態で[次へ]ボタンをクリックします。**

確認画面が表示されます。
- 5. [OK]ボタンをクリックします。**

アンインストールが開始されます。
- 6. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。**

以上で、「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- ・ 「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」のソフトウェア製品全体の著作権、工業所有権の一切の知的財産権はソリマチ株式会社に帰属するものとします。
- ・ 「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」の複製物（バックアップ・コピー）は、不慮の事故に備えて1部のみ作成することができます。
- ・ 「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」を使用した結果の損害及び影響について、原因のいかんを問わず、弊社及びソリマチ株式会社は一切の賠償の責任を負いません。
- ・ 「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」のプログラム及びドキュメント等の一部または全部をどのような場合でもその形態を問わず無断で解析・改造・配布等を行うことはできません。
- ・ 「グループ通算の達人from会計王22シリーズ」のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

グループ通算の達人from会計王22シリーズ
運用ガイド

2023年2月18日初版
